saveMLAK プロジェクト
2013/ 2/10 発行

saveMLAK ニュースレター

第 13 号

名取市どんぐり・アンみんなの図書室 開館準備支援報告

12 月 15 日と 22 日～24 日に、名取市「どんぐり・アンみんなの図書室」開館準備作業に参加しました。作業第 1 期の 15 日には、取り壊しが迫っている図書館本館からプレハブ書庫等への資料の移動や仮配架を行い、第 2 期の 22 日から 24 日には、新図書室に設置する、宮城県産の杉間伐材＝組手什による書架の組み立てと配架作業に取り組みました。

15 日は saveMLAK から 8 名の参加があり、宮城県図書館や東北福祉大学の方々を交えた 20 名弱で作業を行いました。この日は本館からの搬出の最終段階に当たり、残った資料のプレハブ書庫や子ども図書館への移動と仮配架、不要なダンボールの整理などが終わった後、仮配架資料の書架整理に当たりました。名取市図書館の方々も並行して作業され、本館から運ぶべき資料はこの日ですべて搬出されたそうです。

22 日から 24 日の 3 日間には、saveMLAK からはのべ 26 名の参加がありました。22 日にはかながわ東日本大震災ボランティアステーションからも大勢の参加があり、宮城県図書館や地元ボランティアの方々も加わって、組手什の組み立て作業が一気に進みました。登米市森林組合の竹中さんの指導のもと、切り込みの入った細長いパーツを縦横に組み上げていく方法にもあっと言う間に慣れ、にぎやかに声を上げながら全員が競うように組み立てていきました。できあがった書架は前日までのものと合わせて 43 台にのぼりました。書架の完成後、子ども図書室の児童書、絵本の書架整理なども行いました。

23 日、24 日は、書架の設置、床固定の手伝いの他、新図書室への資料の配架を開始しました。その他、子ども図書室のレイアウト変更のため 120 段ほどの資料をダンボール詰めして退避、再配架に加え、新たに設置する変形の紙芝居棚などの組み立てにも取り組むことができました。

以前子ども図書室を訪れた際に、建物と書架による明るく気持ちの良い雰囲気が強く印象に残っていたため、今回新図書室のオープン準備に関わることができて大変嬉しく思っています。組手什の組み立ても堪能させていただきました。今後も機会を見つけてまたお手伝いに伺いたいと思います。

【田崎 淳子】

2013 年 1 月 4 日～ 5 日、名取市のどんぐり・アンみんなの図書室会館準備の第 3 期作業に参加しました。saveMLAK からの参加者をはじめ、宮城県図書館、尚絅学院大や東北福祉大の学生など、2 日間で 80 名近い人数が集まりました。

1 月 4 日は、仮説の書庫から段ボール箱に詰めた図書を運び出し、第 2 期の作業で組み立てた書架へ並べる作業を主に行いました。人数が多いためかなり速いペースで作業は進み、歴史・社会科学・自然科学等の一般書から文学・小説類まで概ね並べ終わり、背ラベルの番号順に細かく並べ替える作業や雑誌用書架の搬入にまで進みました。

5 日は、作業前のウォーミングアップとして図書館体操で幕を開けました。作業人数が多かったため、学生ボランティアは隣のどんぐり子ども図書室での作業、他のボラ ンティアは前日の続きと別れて作業を行いました。小説を著者別に並べ替えて著者名インデックスを差し込んだり、文庫本や地域資料の並べ替え、雑誌架へ雑誌を並べるなど、とりあえず書架に収めたものの体裁を整える作業が続きました。4 日から参加した人、5 日のみ参加した人が協力しあいながら作業を進められたと思います。

2 日間お手伝いをしてまず感じたこととしては、宮城県図書館や近隣の大学など saveMLAK だけではない多くの人の力が集まっていたこと、名取市図書館の方々が精一杯私達を迎え気を配ってくださったことでした。ボランティアに参加したのは初めてでしたが、図書室のオープンというひとつのステップが進んだことを喜ぶとともに、東北の各地域で長い支援が必要なのだろうとも感じ、自分にできることはやっていきたいと改めて考えました。

【小村 愛美】

南三陸町図書館 移転作業支援参加報告

南三陸町の仮設図書館の、ベイサイドアリーナ 2 階から「南三陸町オーストラリア友好学習館（コアラ館）」への移転作業支援のうち、1 月 14 日～ 15 日の日程に参加しました。この日程には、saveMLAK 仲介メンバー 4 名が参加し、南三陸町図書館の方と宮城県立図書館の方と合わせると、２０名近くになりました。

14 日は大雪になったため、図書や書架の移動作業は中止し、建物内での作業のみを行いました。まず旧図書館のアリーナ 2 階では、書架に並んでいる本をすべて段ボールに詰めました。また、翌日の作業がしやすいように、分類ごとに段ボールを並べました。そして、本棚を解体しました。新図書館となるコアラ館では、書架のレイアウトを決定しました。

翌 15 日は晴れたので、まずはアリーナ 2 階で使用していた書架をコアラ館へ移動し、その後箱詰めした図書を移動して、本棚に並べる作業を行いました。作業は非常にスムーズに進み、前日に雪で動けなかったために遅れた部分を取り戻しただけでなく、その日できないと思われていた段ボールまでも全て運び終えることができました。

【山下 ユミ】

次ページへつづくよ

※saveMLAK ニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。

南三陸町の仮設図書館の、ベイサイドアリーナ2階から「南三陸町オーストラリア友好学習館（コアラ館）」への移転作業支援のうち、1月20日～21日の日程に参加してまいりました。当日は、saveMLAK仲介メンバー4名が参加しました。以下の報告には自分が直接担当した作業以外に関する内容も含まれています。

1月14日と15日の作業で閲覧室に配置された児童書架が、19日のコアラ館落成式場設営のために一旦蔵書ごと撤去されたことから、19日に先行して現地入りしたメンバーが作業内容の再調整を行い、20日午前はまず児童書架の再配置から作業開始しました。並行して、一般書の排架と児童書箱の再搬入を実施。事務室では、図書館で使用するノートパソコンやプリンタの、新規契約された光回線の無線LANへの接続設定を行いました。

20日午後は、児童書の再排架を主に行いました。児童書は複数の目で排架順チェックを行い、比較的スムーズに排架が進んだと思います。絨毯敷きの児童コーナーの再設置や、児童書架の上に児童文庫等を排架するための棚を、その場でDIYで作成、設置する作業も行いました。

翌21日は、棚サイン外注のための排架状況写真撮影を行うとともに、ベイサイドアリーナ2階からの什器類や新聞の搬出、当面利用しない什器類の歌津の民俗資料館倉庫への輸送と搬入、プレハブ書庫からコアラ館への追加用図書の搬入と一部の仮排架、雑誌の排架、館内机類のレイアウト配置、文庫書架上への木材棚の設置等を実施しました。限られた時間内で一部未完了の作業もあり、心を残しながらの退却となりました。

個人的には南三陸町図書館の作業支援は2011年9月以来2回目の参加でしたが、町の職員の方々と宮城県図書館との、机1つの配置にしても繰り返し細やかな調整を重ねながらより利用者が使いやすい図書館を目指していく信頼関係の強さが印象に残りました。今後は町として、図書館の未来に繋げるための次の段階に向けた課題が問われることになると思いますが、それらがクリアされることを心より願っています。

【林 水紀】

1月のsaveMLAKウィキ！

◆1月の編集者の方々
(期間：2013/01/01 (Tue) - 2013/01/31 (Thu))
(順不同、IPアドレス・bot・SPAMによる編集除く)

総編集回数：128回

1回	Arg, OpenIDユーザー3, Sabarya		
2回	Soda235, 直人 富岡		
3回	Kosuke Tanabe, Sey mat		
4回	Itono, Kudose	5回	Llibrary
7回	Yegusa	24回	Minoritomizawa
31回	Waterperiod	40回	Masao

【川上 努】

統計 1月末現在

saveMLAK ML アカウント数	299 (+0)
総ユニーク Wiki 編集者アカウント数	351 (+0)
Wiki 編集回数の総計	137,581 (+788)
総 Wiki ページ数	28,875 (+40)
総 Wiki 施設ページ数	25,438 (+23)

1月の出来事と今後の予定

2013年1月4日～1月5日、1月8日～9日
- 活動：「名取市図書館どんぐりアンみんなの図書室」移転作業への派遣仲介。

2013年1月14, 15日, 1月19日～21日
- 活動：南三陸町仮設図書館、移転作業への派遣仲介 前半・後半期とも各4名のプロボノ派遣を仲介。

2013年1月23日
- 協力イベント：名取市図書館ボランティア報告会

2013年1月24日
- 第23回saveMLAK MeetUpを実施。複数拠点（横浜、大阪、福岡、つくば）をつないで運営ミーティングを実施。

2013年2月3日
- 外部イベント：Wikimedia Conference Japan 2013（於・東京大学本郷キャンパス）講演：江草が「文化教育施設の被災・救援・関連情報まとめサイト：saveMLAK ウィキへの引き込み大作戦～3つの恐怖症と対策～」と題して講演。

転載：http://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:ニュース より

saveMLAK 会計報告
2013年1月期収支　1月末現在

《収入》

グッズ売上	1,000	クリアファイル売上
計	1,000	

《支出》

通信費	33,671	サーバー代
諸謝金	30,000	震災訓練プログラムメソッド監修
交通費	3,730	南三陸支援
支払手数料	1,365	振込手数料
計	68,766	

《1月末現在　残高》
1,570,353円　(前月比 -67,766円)

saveＭＬＡＫの活動は皆様の御支援で維持されています。今後ともよろしくお願いします。

【ファンド係：赤塚 昌俊】

---------- ○ ----------

編集後記

第１３号をお届けします。そういえば、ニュースレター編集部員を募集中ですよ～！【今号編集担当：久戸瀬 瑞季】

編集発行：saveMLAKプロジェクト
発行日：2013年2月10日（第13号）
発行所：神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル2F
さくらWorks＜関内＞
アカデミック・リソース・ガイド株式会社内
saveMLAKプロジェクト
E-mail: pr@savemlak.jp
URL: http://savemlak.jp/

※saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。複写・配布等、自由にしていただいて構いません。